

⑥ ケーキを公平に半分こだあ

春田さんが家に帰ると、一人娘の雪子とイボンヌが何やらもめている。

イボンヌはフランスからの交換留学生で雪子のクラスメイト。春田さんの家にホームステイしている。

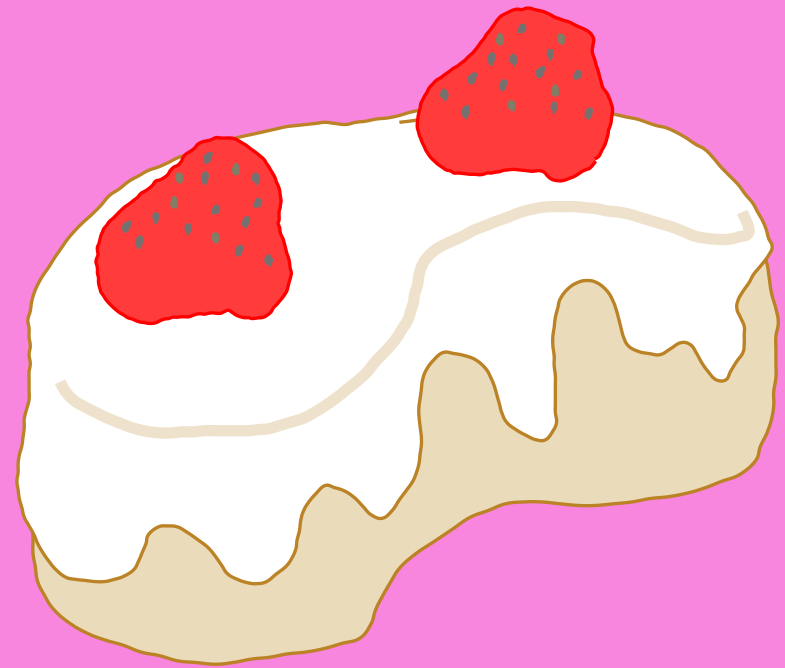
母さんが買ってきたケーキを2人で公平に分けるため、どうやって切ったらいいかで言い争っているようだあ。



「何とも変な形のケーキだない」

さて、春田さん、考えた。

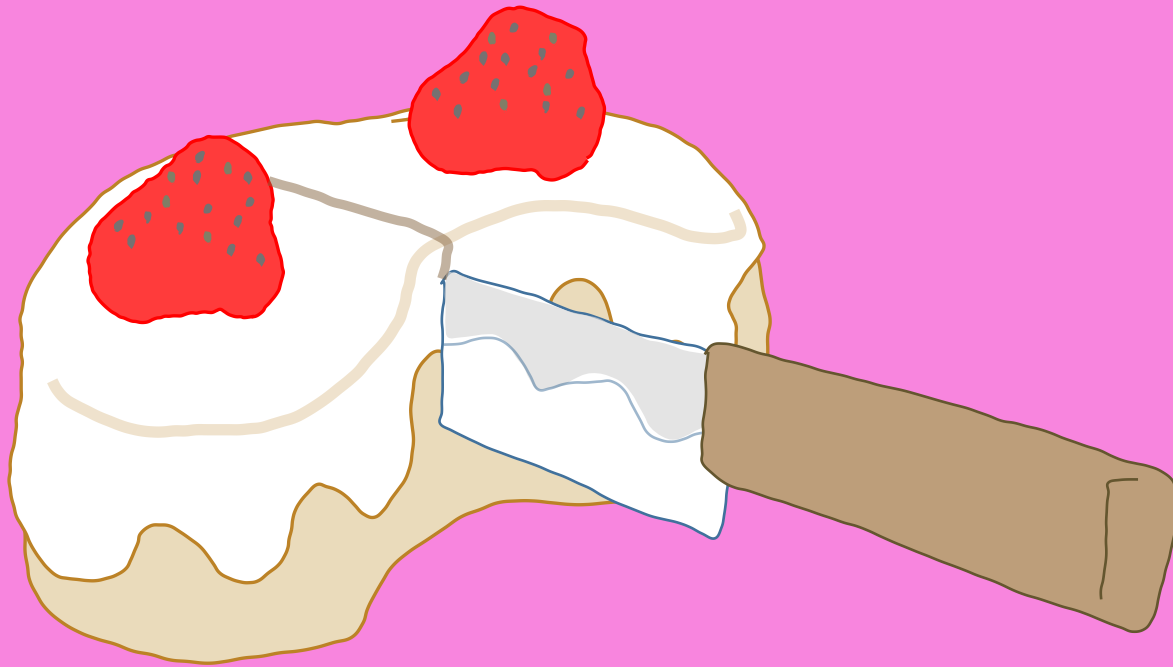
『公平に、って… どっちからも文句が
出ねばええんだべ…』



さて、春田さん。2人の前にナイフを置いてこう
いった。
「おめら、じゃんけんして、勝った方が半分こに
切れ。負けだ方が、先に好きな方をとれ」



じゃんけんの結果、イボンヌが勝った。
イボンヌがナイフを持って、真ん中へんで
ケーキを二つに切った。



雪子は、1分ぐらい迷ったすえ、片方を自分の皿にとった。

イボンヌは、じっと雪子の顔を見つめたが、何もいわずにもう片方を自分の皿にとった。

そして、2人は幸せそうな顔で、ゆっくりゆっくりケーキを食べていた。

『やれやれ・・・』

